

## 49回自由が丘のまち運営会議議事録

日 時 : 平成24年(2012年) 5月24日(木)

18:30~20:45

場 所 : 自由が丘会館3階

出 席 者 : 別紙の通り

議 題

報告事項 : 1 街づくり「自由が丘交通ビジョン」について

追加 : 2 駅前広場の喫煙所パーテーションの破損について

(株)ジェイ・スピリット渡邊取締役より挨拶、報告

平成 24 年度都市景観大賞の大賞を受賞しました。

本日の議長は卯月先生

◆議題・・・駅前広場の喫煙所パーテーションの破損について(追加)

環境保全課石田課長より報告

4月22日午前2時頃、自由が丘交番の警察官が警ら中にパーテーションのガラス部分が割られていることを発見しました。割られていたのは踏切側から数えて2つ目のガラス板です。拳大の石が突き刺さり蜘蛛の巣状の細かい亀裂が入っていました。警察から連絡があり、22日の午前9時半に現場確認をし、ガラスの両面に注意喚起の掲示をしました。その後、そのままでは危険と判断し翌23日午後3時に両サイドにカラーコーンを設置しました。5時には割れたガラス全体を撤去しました。また、器物損壊ということで自由が丘交番に被害届を提出しました。26日にはJTの担当者と復旧への協議を行いました。強化ガラスにシールを貼った特注品のため加工に時間がかかり、喫煙者や歩行者が少ない時間帯ということで5月7日の午後10時から工事を行うことを決定し、翌27日に5月8日に復旧する予定である旨掲示しました。5月7日午後10時から復旧工事を行い翌8日には施工状況を確認した上でカラーコーンを撤収致しました。今後こういうことがないように何か工夫はできないかということでJTと協議中ですが、なかなか対策はありません。自由が丘交番の警ら時に注意はしてくれることにはなっていますが、今後、何か対策はないか研究していきたいと思います。報告は以上です。ありがとうございました。

<質疑応答>

(委員) 駅前町会の者です。パーテーションをしたため、亀屋万年堂の駅前支店に喫煙者の煙が流れているという問題が発生しておりお客様にご迷惑をかけております。何か対策はとれないでしょうか。

(渡邊取締役)私も聞いています。とりあえず一度、亀屋万年堂に話を良く聞いてみましょう。私も通りますが日によってすごく違います。臭わない時もあれば溜まってしまう時もあります。話は聞いていますので、それから対策を考えたいと思います。

(卯月議長)確かに亀屋万年堂の方を向いて煙草を吸っていますからね。こういう細かなこともとても重要なことです。ありがとうございました。

◆議題・・・街づくり「自由が丘交通ビジョン」について

①街づくり「自由が丘交通ビジョン」(案)小原氏、吉田氏より説明 別紙資料参照

<質疑応答>

(委員)1ページ(1)自由が丘交通ビジョンの目的の中で「個性的でヒューマンスケールのおしゃれな街」ということが記載されていますが、これは従前からこのような文言が使われていたのでしょうか？私にはあまりイメージがわからないので、パッとイメージがわく文言にした方が良いのではないのでしょうか。

→キャッチフレーズ、標語的には2ページ(3)自由が丘交通ビジョンの目指す将来像に書かれている「やさしく歩ける街“自由が丘”」という標語がずっと使われていくと考えています。ヒューマンスケールについて補足します。私見を含みますが、最近の新しい都市開発地は遠回りをしないと道路を渡れません。昨日、スカイツリーに行ってみましたと思うように道路を渡れませんでした。どうしてこんなに歩かせるのかと思いました。歩いた先に交番がありました。そこから歩道がなくなりました。警察官に歩道があった方が良いですね、とお話をしました。ヒューマンスケールというのは人が活動するのに合っている、個性的というのは他に例のないまち、そしておしゃれな方がいいな、ということです。そういうことで書きましたが、皆様の方でもっと良いキャッチフレーズなどがありましたらご指示頂ければと思います。皆様が作る文章なので、素敵な名前やキャッチフレーズをお考え頂ければと思います。

## ②「東京都との勉強会」について 吉田氏より報告

5月14日に東京都都市整備局総務部長、交通企画課長、街路計画課長、市街地建築部民間開発課長渡邊取締役、岡田理事長、岡村さん、石川さん、小原さん、田島目黒区議とともに勉強会を開催。

## ③自由が丘「交通ビジョン」2012について 小原氏より説明 別添資料のとおり

<質疑応答>

(議長)4ページの図中、緑色の中の白抜きの数字は何を示しているのでしょうか？

→例えばAで言いますと、2のエリアと3のエリアは歩行者ゾーンで分断される可能性が高いということを示しています。ここにある程度の交通量が発生するということです。

(議長)同じく4ページの記載にある、分科会におけるアンケートについて補足を願います。

→これは前回の分科会において、現在検討の途中ですが今の段階で14名の方にアンケートをとった結果です。

(議長)補助208号線についてですが、A案はななめになっていますがB案は突然クランクしています。それはどういう意図があったのでしょうか？

→ここに幅員等見直しと書いてありますが、実はルートの見直しということも考えています。世田谷区であるこの地域で地区計画の検討が進行中ですが、1つの案としてルートを変えれば拡大し土地の使い方も変わってくるのではないかと思います。ななめのルートのまま計画し整備することがかなり困難という状況が以前からありますので改善されるべきかと思えます。白い点線は5ページにありますが、鉄道の地下化の後その上をバスレーンとして利用すれば歩行者がより使いやすくなるのではないかと思います。

(委員)4ページの茶色の線、鉄道の下白い太い線は何ですか？

→それは遊歩道です。

(委員)賛成の意見が出ており、正直驚きました。私はまだ賛否はとらない方が良いと思います。なぜかというB案というのは吉田さんの説明から非常に理想的に見えますが具体的にこれを考えると広く計画されている道路には車を通さず、狭く計画されている道路で車を回すということになっています。モデルとし

てはヨーロッパ型の外周道路をしっかりと作ってそこで回して中に入れないという形を作らないと狭い道路に負担がかかることになります。B案は理想的ですが実際に4～6ページまでのように展開した時には問題が起こるので、よく研究してから賛否をとるべきだと思います。私としては5ページに書いてあるような構造であれば通過交通の分担をしていく、5m級の広い歩道をもつということも考えられます。今日仮に賛否をとるのであれば少し困ると思っています。

→賛否に関しては、それを非常に重要視するわけではありません。ご出席して頂いた方の意見というレベルでお考え頂ければと思います。補助46号線に車は通らないとした場合、周りの道路の整備は必要になります。2車線確保して歩道の整備ということになります。

(委員)先ほど駒沢通りの交通量が1万台という話がありました。この外周道路では駒沢通りに負担がかかると思います。賛成された方は、そこまで考えて賛成されたのかな？と思いました。

(議長)今日、評決するつもりは全くありません。おっしゃる通りB案は理想かもしれませんが、いろいろな問題を抱えています。そういう問題提起があったことをきちんと記録し、今後の課題にいれていければと思います。

(委員)昭和41年変更の都市計画の時は幹線を接続する支線の位置づけがあるのに、平成24年のものは部分整備で幹線に接続していません。交通量を考えた時に昭和41年の案の方が正しいと思います。

→まちは整備されるものとして考えていくのか、整備されないものとして考えていくのかということですね。いずれにしても鉄道の立体化を自由が丘で行おうとした場合、まちとして歩行環境を良くしたいのであれば都市計画道路・その他の幹線道路の整備を目標に持ち、とりあえず補助46号線を整備し将来的に補助208号線を整備するということを考えました。

(委員)鉄道の立体化を考えると自由通りがとても重要ということですね。

(議長)資料3の表現が良くないですね。昭和41年の都市計画道路の変更と並べて表示されている「平成24年」の図が、現状なのか？都市計画の案なのか？混ざってしまっていて、分かりにくいです。

→すみません。「平成24年」の図は、今、検討している内容です。

(委員)小原さんのスローガン「歩いて楽しい自由が丘」「やさしく歩ける街自由が丘」のように歩行空間を確保するというのであれば、電柱の地中下を進めた方が良いのではないかと思います。

→できる事から整備に取り組んでいくという事ですね。他にもいくつかあると思います。

(委員)パーキングについてですが、どのくらいの駐車台数を見込んでいますか？外側にあったパーキングはどんどん家やアパートに建て替えられています。大体どのくらいの台数の駐車場があれば自由が丘のまちに車が入ってこずに歩けるのかということをお聞きしたいです。また、8ページに記載されている道路の幅ですが、きれいなお店が並んでいると横断歩道まで行かずに途中で反対側に渡ってしまうことが考えられます。そういうことを考えると車のスピードが出ない方法を考えるとまちを安心して歩けると思います。また、世田谷区の方の動きはどうなのでしょう？

→駐車場の台数については、1つはまちの商業の方針に関わってくると思います。車で来づらいまちにしていくのか・・・等で変わってくると思います。現状、駐車場を増やせば混雑が緩和するとは思っておりませ

ん。

→「車のスピードが出ない方法を考える」ことは、重要なお指摘だと思います。持ち帰らせて頂き宿題にさせて下さい。今、駐車場はガラガラに空いており時代と共に変化するものだと思います。今後については必要な調査をして考えていく必要はあると思います。

(委員)

歩行優先ゾーンについてですが、鉄道が立体化された後のことをいっているのですか？

→そうです。現在、実施されている日曜日だけの歩行者天国が毎日行われるようなまちにできないかという案です。

(委員)8 ページ左上の補助46号線の幅員検討例についてご説明下さい。

→現況は8mの道路ですが、都市計画では20mとなっています。点線の中は建築制限を受けています。このままでまちが働きかけなければ当分このままでいくのではないのでしょうか。しかし、まちはもう少し良くしたいということで20mでなくても15m位のできるのであれば、まちは改善すると思います。そういうことを行政に提案したらどうかということです。

(委員)自由が丘のまちには災害時に緊急車両が通れるような道が少ないと思います。まちの意見として、災害時に緊急車両が通れるような道を整備してほしい、という声をあげるべきではないでしょうか。それが鉄道の立体化にもつながっていきます。

→(渡邊取締役)防災と鉄道の立体化と組み合わせていく知恵はほしいですね。道路の幅は8m以上なければ延焼していきます。自由が丘は非常に危険地帯であるといえます。

→(議長)車や建物の整備と歩道や広場などの歩行者空間の整備と両方の兼ね合いが必要です。

(東急電鉄企画開発部杉浦主査)先日の分科会に出席させて頂きました。B案の鉄道立体化についてですが、そもそも地下なのか高架なのか決まっていません。仮に地下になった場合、地上は民地になり、東急電鉄も一事業者となり東急電鉄が勝手に使うということはありません。そう考えると、今バスレーンと位置づけてしまうと後からいろいろと困ることも出てきてしまうのではないかと思います。

(委員)補助208号線から補助46号線に出て行く所ですが、今は住宅街です。本当にこれは実現可能なのでしょうか？また、A案B案C案と図を見せられてしまうと非常にこの図にとらわれてしまい、かえって難しく感じます。この図にとらわれずに、現状何が問題で何が良いのか、今ある計画道路も何が問題で何が良いのか、という事をきちんと考え整理してから考えていった方が良いと思います。

→ありがとうございました。最初のご質問の普通の家が建っている所に斜めに道路をつくるという案ですが、ここの地権者の方といろいろ話をして進めるということであって、ここで決めるということではありません。地権者の方と話をしてどういう解決策があるのかを話していくしかないと思います。ここでの交通ビジョンは、ある程度地権者の方々の合意があって初めて交通ビジョンといえるものです。補助46号線に関してもこれからではありますが、集まって話をする必要はあると思います。

→(吉田氏)我々の役目は、皆さんの意見をまとめて文書にしたり体現的な図にしたりするところまでです。自分達の考えを出しているわけでは決してありません。

(地区整備事業課三ヶ尻係長)2030年を目標に自由が丘の交通ビジョンの検討をしていただいていることは、他の地域ではこのように系統だて検討している所は少なく大変ありがたく思います。いろいろなプランを検討して頂いていますが、東京都や目黒区の街づくりの計画と整合を図っていくことが重要になります。例えば都市計画マスタープランやこの3月に改定いたしました目黒区交通バリアフリー推進基本構想などです。この交通バリアフリー推進基本構想では、自由が丘駅周辺地区は、中目黒駅周辺地区、都立大学駅周辺地区とともに区内3か所の重点整備地区としています。

まちの皆様が検討いただいている自由が丘交通ビジョンも、都や区の街づくり計画との関係や財政との関係から出来る所、出来ない所があると思います。提案されているアンダーパスによる都市計画道路の整備についても多くの経費がかかり、その辺も含めて検討する必要があります。都市計画的な観点では都市計画道路はラインや幅を変えることはなかなか難しいと思います。お話をされていたように車の量は現在減っていますが、20年後本当にそうなのか長い目で考えないといけないと思います。鉄道立体化については目黒区だけの問題ではないので近隣区を含めて考えなければならないと思います。

(碑文谷警察浜本交通課長)防災の観点から考えますと、歩道をいかに広げるかがということになります。補助46号線をそのままというのはなかなか難しいと思います。ある程度、すりよって出来る範囲で歩道を広げゆっくり歩けるまち、というまちは非常に魅力的だと思います。

(小原氏)今日はアンケートにご意見のご記入をお願いします。

(議長)最後に、今日聞いていて思ったことをお話しします。10月位までに交通について一応まとめるということで今まで何年にも渡って検討してきました。地域の総意ということをいつも言っていますが、はっきり言ってまとまりませんでした。或いは何をまとめてまとめたとするのか、というようなことがわかりません。やるとすると商店街の方が中心じゃないかとか、今日は東急電鉄の方や警察の方などかなり重要な方が参画していますがまち運営会議だからまちの方が中心じゃないかとか、という意見もあります。目黒区に提案する時には誰が賛成してこの提案をしたのか、賛成の人数は多ければ多いほど良いし、いろいろな組織があるので、その辺を整理しないと提案された目黒区にこれは一部の意見では？自由が丘の皆さんの総意ではないのでは？と言われてしまったら全く棚の上におきっぱなしになってしまいます。こういうことをきちんと議論する良い機会だと思います。しかし、最後の段階に至るまでに、どの方々の意見を聞きながらどういうふうに関意形成するのかということを含めて皆さんでもうちよつと議論した方が良いと思います。先ほどの補助208号線についても、小原さんが住民の方の意見を聞きます、と言われていましたがそこだけ詳細に意見を聞いてしまって本当にいいのだろうか、という危惧もありあます。他の都市計画道路に関わってくる人、全員に意見を聞かなかつたら公平でない指摘されてしまうかもしれません。あまり慎重になりすぎるのも良くないとは思いますが、せっかく良い機会に自由が丘の総意をまとめようと思うのであれば、まとめ方や合意形成の仕方を分科会とこのまち運営会議、それ以外の団体についても配慮しながら考えた方が良いと思います。

(委員)アンダーパスについてですが、地上は権利を持っている人がいるので残りは地下しかありません。お金さえあれば全部地下にできます。全部解決すると思います。100年200年の長期間で考えて地下を使

う夢をもった方が良いと思います。

(委員)30年位先を目標にと考えていきますと、使っていくのは次の世代の方です。次の世代の方は皆さん忙しいご年齢だとは思いますができるだけ参加してほしいと思います。各町会の若い方に今こういう検討をしているということを話して意見を聞いていかなければいけないと思います。

→前回の分科会でも一人だけ若い方いました。なぜ若い人が参加しないのか、おかしい・・・と話されていました。若い人達が興味をもてる会議にしなければいけないのではないかと思います。

(議長)本日はこれで終了とします。ありがとうございました。

以 上